

# ■新TMRセンター竣工に向け

## 県内三ヶ所で組合員説明会

二月五日～七日



(みわ TMR センター倉庫内に設置したラップボールマスタ 2/7 撮影)

広酪は現在、みわ・庄原両TMRセンターを統合し、新たにラップボールマスタ(圧縮梱包機)を導入し、飼料稲(WCS)の確保に努め、良質で安価なTMR飼料製造をもって、組合員の酪農経営の安定に貢献できることを目指し整備事業に取り組んでいます。

これに先駆けて県内の三ヶ所で新TMR飼料の供給開始に向けた組合員説明会を開催し、総勢五十二名の生乳出荷組合員等の参加がありました。

ここでは、広酪が取り込む①新しいTMR飼料の商品紹介と推進方法、②TMRセンターの統合整備にかかる進捗状況、そして同形態で製造された先進地での製造TMR飼料を持ち込んだ包装状態や圧縮状況、品質等を確認する実演を各会場で行いました。これらの説明概要を紹介いたします。

### ■四月下旬供給を目指す

新TMRセンターの整備に当たっては、「強い農業づくり交付金」の補助事業を活用し、広島県による中間検査も受けながら、来る三月十日(月)の工事完了を目指し工事を進めています。既に「ミキサー」や「圧縮梱包機」は納入を終え、三月には試験運転、試験製造を行い、三月下旬には本格稼働に入り、発酵期間を経て、四月下旬(二十九日予定)からの供給開始を目標としています。

### ■購買推進の取り組み

#### ①意向調査を受けて購買推進へ

組合員の皆さんからの意向調査を受けて、二月二十五日から原則として組合員の皆さんを順次訪問し飼養形態や現状の給餌内容等から個別に意見要望をお聞きし、相談にも応じながら推進を図っていきたく思います。飼料切り替えには二週間程度の慣らし期間が必要で、新規利用者は希望を聞いて約一か月後からの供給となります。庄原TMRセンターの日配製品から発酵切り替え期間への慣らし期間も必要です。

#### ②製造計画策定

組合員の皆さんの意向を纏め、三月十日を日途に製品種類毎の製造量を確定し、製造計画を具体化します。現状の製造数量は九千トンですが、二十六年度は九千五百トン、順次増産に向けて購買推進を行い、二十九年年度では一万二千トンを見込んでいます。

#### ③製品管理

製造にあたっては、①製品栄養分析を月二回実施、②原材料(粗飼料)を月一回分析、③原材料(粗飼料)納品時のルール計量など、適正な製造管理を行っていきます。

### ■新TMR飼料メニュー

①高泌乳用TMR	高泌乳牛群(40kg)をベースとした設計
②中泌乳用TMR	中泌乳牛群(35kg)をベースとした設計
③自給粗飼料利用型TMR	自給粗飼料と混合することをベースとした設計
④産乳用TMR	中泌乳用をベースとしたドライTMR
⑤移行期用(ファイバ-MIX)	乾乳牛群を対象とした粗飼料主体設計(ドライアシスト併用)
⑥育成用TMR	12ヶ月以上の育成牛を対象とした設計
⑦和牛育成用TMR	和牛子牛を対象とした設計(検討中)

④ 指導体制の充実

乳用牛の飼養管理にあたっては、飼料給与だけでなく繁殖、分娩管理等も重要です。購買推進と共に給与方法や飼料設計等の相談に応じながら推進を行っていきます。TMR利用者への定期的巡回や指導機関、上部団体との連携をもって組合員の経営をサポートします。

■ 新TMRの供給荷姿

新TMR飼料は、ラップペールマス(圧縮梱包機)で圧縮した後、ラップ梱包したものを供給します。供給重量は五百kg。トランスパック方式での供給も予定しています。この供給重量は三百kgから四百kgです。



(供給荷姿のイメージ)

■ 飼料イネ(WCS)

確保の進捗状況

平成二十六年産飼料イネ(WCS)確保に向けては、これまでに①県行政に対する説明、②県農業再生協議会に対する説明、③飼料イネ(WCS)生産

に取り組まれている地域農業再生協議会事務局(十市町)に対する説明会を開催し、その確保に向けた行動を行っていきます。その後、各地域の生産法人等との対応協議を順次進めており、作付意向の合計は二月十四日時点で三十・一haの状況にあります。平成二十六年度の調達目標は一〇〇haあたり二百七十kgを目安に六千個(八十五ha)とし、今後も個別に集落法人等の相談等にも応じながら、数量確保にあ

たっています。



(熱心に聞き入る説明会の様子)

組合員等の皆さまにおかれましても、飼料イネ(WCS)の生産への有用な情報がありましたら、広略までご一報頂ければ幸いです。よろしくお願いいたします。

(まとめ)

広略では、高騰を続ける飼料価格に歯止めをかけるため、輸入粗飼料に大きく依存しない飼料用稲の確保と共に、安定した品質の飼料供給体制を図り、組合員の酪農経営の安定と貢献を目指しています。これには飼料分析等を含めた組合員指導や牛群検定事業での検定成績のフィードバック等も必要で、購買推進と指導体制の充実も図っていきたくと考えております。組合員の皆さんの酪農経営においての産乳量アップ、そして、所得確保によってうるおいある酪農を共に目指していきたいと考えております。

これらの新TMR商品に対するお問い合わせは、事業推進課 ☎〇八二四一六四一二〇七二〇又は最寄の事業所にお問い合わせください。